

令和元年度 庄内地域保健医療協議会（地域医療構想調整会議）
議事概要

- ・日時：令和2年1月22日（水）18:30～19:30
- ・場所：庄内総合支庁 講堂

1 開 会

2 挨拶（庄内総合支庁保健福祉環境部 高橋部長）

3 会長・副会長の互選について

委員の互選により、会長に土田委員、副会長に佐藤（顕）委員が選任された。

4 報 告

(1) 病床機能調整ワーキング検討状況について

事務局から資料1により説明

○主な意見・質疑等

特になし

(2) 病床機能報告における定量的基準の導入について

事務局から資料2により説明

○主な意見・質疑等

特になし

5 協 議

(1) 厚生労働省からの「具体的対応方針の再検証」の要請について

事務局から資料3により説明

○主な意見・質疑等

特になし

(2) 外来医療計画の策定について

事務局から資料4により説明

○主な意見・質疑等

- ・ 資料4-2の在宅医療のところで、人口10万人当たりの訪問診療施設数・往診医療施設数のデータがある。ここの訪問診療施設・往診医療施設の定義はどうなっているのか。
→ 確認し改めて説明させていただく。(事務局)

【確認し後日回答した内容】

NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）における「在宅患者訪問診療実施施設数」「往診実施施設数」とは、NDBデータにおける医科レセプト（入院外）の在宅患者訪問診療・往診の診療行為が算定された病院数及び診療所数である。

(3) 第7次山形県保健医療計画庄内地域編の進捗状況について

事務局から資料5により説明

○主な意見・質疑等

- ・ 資料5の2ページ目の「庄内地域における二次・三次医療機関を受診した救急患者及び救急搬送患者に占める入院を要しない患者数の推移」について確認する。平日の夜間に医師会の医師により初期救急を行っている病院もあるが、その数もここに入っているのか。
→ この数字は、管内の救命救急センター・救急告示病院全ての分であり、一次救急として医師会の医師が診療している病院の分も含んでいる。(事務局)
- ・ 病院で敬称患者の初期救急も引き受けていることから、比較が難しくなっているので、少し詰めて考えてもらいたい。
- ・ 資料5の1ページ目の表を見ると、看護職員数が増えているように見えるが、現場では看護師不足が顕著である。増えたといって満足できる状況では決してない。
→ 看護師の需給については、今年度、需給調査を行っており、間もなくその結果が出るものと思う。国の方では、本県の看護師が将来は過剰になるという推計をしているが、本県でも現場の声を踏まえて精査しているところである。看護職に関しては、現場の事情を踏まえて議論を進めたいと考えている。(事務局)
- ・ 働き手の欠乏は医師、看護師だけではない。しっかりと働き手を養成していただければと思う。

(4) 庄内地域における5疾病5事業及び在宅医療に係る連携体制の変更について
事務局から資料6により説明

○主な意見・質疑等

特になし

6 その他

特になし

7 閉 会

【以上、終了 19 時 30 分】